

施策を構成する事業評価

No.	42	担当課	都市計画課
-----	----	-----	-------

1. 施策名

基本目標	4	快適な環境で安心して暮らせるまち【防災・環境・社会資本整備】
政策名	5	良好な住環境や道路・公園を次世代に引き継ぐまちづくり
施策名	1	良好な住環境をつくります

2. 重点事業

事業名(中分類)	駅北地域整備構想検討事業		予算事業番号 (予算事業名)	8.4.1.108066(総合戦略・駅北構想策定事業費)									
事業指標	スケジュール(案)作成	現状値 H27	実績値									目標値 R7	達成 状況(%)
		未実施	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	スケ ジュール (案)作成	
事業概要	人口減少問題の対策を推進するとともに菊川市のさらなる発展に弾みをつけるインパクト事業として駅北整備構想を位置付け、新たな賑わいを駅北側に創出し職場と住居を含む市民の生活拠点を目指していく。												
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度には、平成29年4月に策定した駅北整備構想の実現化を目指し、市における上位関連計画との整合を図りつつ、基本計画策定に向けた整備区域や整備手法等について検討を行い「駅北整備構想概略整備計画」を作成し、駅舎の橋上化、南北自由通路の開設、駅前広場整備を短期計画、新市街地整備エリアを中期計画、西方地域は長期計画に位置付けた。</li> <li>平成30年度には、短期計画に掲げた駅舎橋上化及び南北自由通路の開設について市としての方針を決定し、地元代表者で組織された駅北開発推進協議会や市民の代表者である議会に対して事業説明を行った。また、県及びJR東海と整備スケジュール等について協議を行い、11月に自由通路新設及び橋上駅舎化の基本計画調査をJR東海へ委託した。</li> <li>平成31年度には、平成30年11月にJR東海へ委託した自由通路新設及び橋上駅舎化の基本計画調査を完了し、令和2年度に実施する同概略設計に向けた検討や関係機関協議などを行った。また、南北自由通路と北口駅前広場の相対計画決定に向けた基礎資料を作成した。</li> <li>基本計画調査により、南北自由通路の位置、駅舎の規模等を検討したが、詳細な事業費や工事スケジュールは示されていない。</li> </ul>												
課題・問題点等(C)													
今後の方向性(A)	詳細な事業費や工事スケジュールを検討するため、概略設計をJR東海へ委託する。												

事業名(中分類)	住宅取得補助事業		予算事業番号 (予算事業名)	8.5.1.108064(総合戦略・菊川市住宅取得補助事業)									
事業指標	住宅取得補助制度の利用件数	現状値 H27	実績値									目標値 R7	達成 状況(%)
		未実施	169	116	123							240件 (戦略期 間32年 度)	
事業概要	本市の人口増加、定住促進、活力に満ちた元気なまちづくりを推進を図るため、市内に住宅を取得した若者世帯に対して条件を満たす方に補助金を交付する。												
取組内容・結果等(D)	市の広報誌やホームページ、関係機関等へのチラシ配布等により事業のPRに努め、令和元年度は123件(一般世帯98件、三世同居・隣接世帯25件)の補助金を交付した。事業を実施したことにより、令和元年度は149人の転入、279人の転出抑制、計428人の人口減少抑制が図られた。また、第1期総合戦略が令和元年度で終期を迎えるため、本制度を見直し、要綱改正を行った。												
課題・問題点等(C)	現在策定作業中の立地適正化計画が令和3年4月公表予定であることに伴い、「拠点の魅力と利便性の向上により働き盛りの人々に選ばれるまち」を実現するため、居住誘導に関する施策を検討する必要がある。												
今後の方向性(A)	本制度の改正に伴い、広報誌やホームページ等により制度の周知に努め、本市における生産年齢人口の増加及び転出抑制を図る。また、子育て世代や居住誘導区域内の住宅取得を推進する取り組みについて検討する。												

3. 基本事業

事業名(中分類)	空き家対策事業		予算事業番号 (予算事業名)	8.4.1.108063(総合戦略・空き家等対策推進事業費) H30~								
事業概要	適切な管理が行われていない空き家等が防災、衛生、景観等の面で地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしていることを鑑み、地域住民の生命、身体又は財産を保護するとともに、その生活環境の保全を図り、併せて空き家等の活用を促進するための施策を総合的かつ計画的に進める。											
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> <li>菊川市空き家等対策計画及び空き家の発生を抑制するための特例措置の制度周知のため、市ホームページへの掲載、官民協働発行による空き家情報冊子の配布、広報菊川への掲載等を実施した。</li> <li>市内全域の空き家等の現状を把握するため、戸建住宅の空き家を対象とした実態調査を実施し、新たな空き家等の発生や解体等による増減を空き家数へ反映し、台帳を更新した。</li> <li>また、平成29年度から開始した空き家実態調査が今年度で市内全域完了した。</li> <li>相談窓口を都市計画課に設置し、平成31年度は、76件の相談に対し、内容に沿った対応を実施した。(現地確認、所有者等調査、助言・指導等)</li> </ul>											
課題・問題点等(C)	<ul style="list-style-type: none"> <li>空き家の削減及び特定空き家等の発生予防のため、空き家対策特措法の概要や空き家を放置することによるリスク、相談窓口の紹介、空き家に関する各種制度等の周知が必要である。</li> <li>また、新たな空き家等の発生や解体等による、空き家数の増減を把握するため、定期的の実態調査による空き家数の更新が必要である。</li> <li>相談窓口へは、多岐にわたる苦情・相談が寄せられ、その対応に苦慮していることや、周辺住民の生活環境に悪影響を及ぼす特定空き家等の判定を適正に行うため、県及び関係機関等との連携強化が必要である。令和2年度に空き家等対策計画が終期を迎えるため、本計画の見直しが必要である。</li> </ul>											
今後の方向性(A)	空き家数増加の抑制を図るため、空き家等対策計画のとおり事業を継続する。また、相談記録や実態調査等の結果を踏まえ、令和2年度中に空き家等対策計画の見直しを行う。そのまま放置すれば倒壊等著しく保安上危険な状態の空き家等について、建築士による現地調査及び判定を必要に応じて行い、所有者に対し改めて指導を行っていく。											

事業管理シート(施策)

基本目標	4	快適な環境で安心して暮らせるまち【防災・環境・社会資本整備】
政策名	5	良好な住環境や道路・公園を次世代に引き継ぐまちづくり
施策名	1	良好な住環境をつくります

事業名(中分類)	土地利用規制等対策事業	予算事業番号 (予算事業名)	8.4.1.108067(都市計画調査事業費) 2.1.7.102857(土地利用対策総務費)
事業概要	市内の均衡ある発展と都市機能と自然環境が共生するまちを目指すため、都市計画法や各種法制度の適切な運用を図り、調和の取れた土地利用の誘導を図る。		
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・菊川市土地利用事業の適正化に関する指導要綱に基づく指導として、事前協議等の審査8件、承認の審査8件、完了検査4件を実施した。</li> <li>・都市計画法に基づく開発許可として、新規許可1件、完了検査・完了公告2件を実施した。</li> <li>・国土利用計画法に基づく事務として、土地売買等届出書を10件受理し県へ進達した。</li> </ul>		
課題・問題点等(C)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近年、太陽光発電施設建設に伴う住民トラブルの発生が問題となっている。</li> <li>・太陽光発電施設の建設は、宅地造成を目的とした土地区画整理地内や住宅系用途地域内でも多くみられ、当初の区画整理の目的や用途設定の効果が薄れてしまっている。</li> <li>・過去に開発許可を受けた土地の変更や売買により、事業者が変わってしまっている土地利用の相談が増え、指導に苦慮している。</li> </ul>		
今後の方向性(A)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・菊川市太陽光発電設備の適正導入に向けたガイドラインを踏まえた指導を継続していく。</li> <li>・相談者との協議を深め、基準に適した変更を指導する。また、県や近隣市との情報交換に努める。</li> </ul>		

事業名(中分類)	潮海寺地区計画推進事業	予算事業番号 (予算事業名)	8.4.5.108037 (社会資本整備総合交付金事業潮海寺地区計画)
事業概要	住環境や生活環境、防災機能の向上を図るため、潮海寺地区計画による狭あい道路の整備を地元組織のまちづくり推進協議会と協働で推進する。		
取組内容・結果等(D)	<p>年12回のまちづくり推進協議会の運営を支援し、まちづくり事業の円滑な進捗を図った。</p> <p>地区計画道路3-4号線について、用地測量業務、用地買収及び一部区間の工事を施工し、道路拡幅が完了した。</p> <p>第4期整備計画書の策定をした。</p>		
課題・問題点等(C)	<p>現在活用している狭あい道路の国庫補助金が平成30年度で終了する予定であったが、令和2年度も継続されたがいつ終了するかわからないので財源確保のために別の国庫補助メニューを検討する必要がある。</p> <p>第3期計画の5年目であるが、整備率は55.5%であることから、事業進捗を図る必要がある。</p>		
今後の方向性(A)	<p>狭あい道路補助金に替わる国庫補助メニューを検討していく。</p> <p>時期整備計画路線に着手できるよう地元役員と協力していく必要がある。</p>		

施策を構成する事業評価

No.	43	担当課	建設課
-----	----	-----	-----

1. 施策名

基本目標	4	快適な環境で安心して暮らせるまち【防災・環境・社会資本整備】
政策名	5	良好な住環境や道路・公園を次世代に引き継ぐまちづくり
施策名	2	幹線道路や生活道路を整備します

2. 重点事業

事業名(中分類)	掛川浜岡線バイパス整備事業		予算事業番号 (予算事業名)	8.2.1.108851(道路橋梁総務費) 8.2.3.108017(社会資本整備総合交付金事業市道赤土高橋線)								
事業指標	西方地区の事業着手	現状値 H27	実績値							目標値 R7	達成 状況(%)	
		H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	蜀川運動公園から掛川方面への事業着手	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>掛川浜岡線バイパスは掛川(西方)側の早期事業着手するため、現在実施している御前崎(浜岡)側の赤土高橋線の完成を目指している。</li> <li>掛川浜岡線バイパス事業の県施工区間において、県及び地元との連絡調整を行うとともに、掛川浜岡御前崎バイパス建設促進期成同盟会にて県への要望活動を実施し、事業の推進を図る。</li> </ul>											
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> <li>掛川浜岡線バイパスの小笠バイパス区間である赤土高橋線は、令和元年度に35.5mの築造工事を実施し、令和元年度末の進捗率は69%になっている。</li> <li>掛川浜岡御前崎バイパス建設促進期成同盟会の活動として、県への要望活動を行った。</li> </ul>											
課題・問題点等(C)	<ul style="list-style-type: none"> <li>掛川(西方)側の事業着手をするためには、事業中の赤土高橋線の整備を進め、県の施工区間へ接続する必要がある。</li> </ul>											
今後の方向性(A)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市の施工区間である赤土高橋線の整備を進め、県と連携して小笠バイパス区間の早期完成を図るとともに、引き続き、掛川浜岡御前崎バイパス建設促進期成同盟会にて要望活動を行っていく。</li> </ul>											

3. 基本事業

事業名(中分類)	市単独道路整備事業		予算事業番号 (予算事業名)	8.2.2.108009(道路維持管理費) 8.2.3.108012(市単独市道改良整備事業費) 8.2.3.108013(市単独市道舗装改良等整備事業費) 8.2.3.108014(市単独市道整備補助事業費) 8.2.3.108052(社会資本整備総合交付金事業市道大須賀金谷線)								
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>市単独道路維持整備事業</li> <li>市単独市道改良整備事業</li> <li>市単独市道舗装改良等整備事業</li> <li>市単独市道整備補助事業</li> <li>社会資本整備総合交付金事業市道大須賀金谷線</li> </ul>											
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市道の維持整備事業として側溝や溝蓋の修理、舗装の穴埋めや改良工事を実施し、市内全域の道路施設の維持を図っている。生活道路である市道の拡幅などの改良は令和元年度に17路線の工事を実施した。また、地域に密着した生活道路の改良として11路線の改良工事費に対して補助している。地域幹線道路である大須賀金谷線は、用地、物件補償の契約を進めており、用地取得率については令和元年度末に91%になっており、164.4mの道路築造工事を実施した。</li> </ul>											
課題・問題点等(C)	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活道路を良好に保つためには道路監視の体制をさらに強化することが望ましい。また交通形態は各種事業や開発などにより変化するものであるため計画的な整備が必要である。</li> </ul>											
今後の方向性(A)	<ul style="list-style-type: none"> <li>連絡体制の円滑化を図り、現在の道路/パトロールと連携を図る中で、良好な道路維持につなげていく。また、生活道路の改良工事について、各地区からの申請について効率的な実施を図っていく。</li> </ul>											

施策を構成する事業評価

No.	42	担当課	都市計画課
-----	----	-----	-------

1. 施策名

基本目標	4	快適な環境で安心して暮らせるまち【防災・環境・社会資本整備】
政策名	5	良好な住環境や道路・公園を次世代に引き継ぐまちづくり
施策名	2	幹線道路や生活道路を整備します

2. 重点事業

事業名(中分類)	なし										予算事業番号 (予算事業名)		
事業指標	現状値 H27	実績値										目標値 R7	達成 状況(%)
		H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
事業概要													
取組内容・結果等(D)													
課題・問題点等(C)													
今後の方向性(A)													

3. 基本事業

事業名(中分類)	計画道の整備事業	予算事業番号 (予算事業名)	8.4.2.108044 (社会資本整備総合交付金事業青葉通り磯田線)
事業概要	主に歩行者の安全で安心な交通空間の確保のため、(都)青葉通り磯田線の整備を進める。		
取組内容・結果等(D)	(主)掛川浜岡線バイパスより東側区間 L=95mの北側歩道整備及び車道拡幅舗装工事、青葉橋より東側区間 L=113mの南側歩道及び車道舗装工事を発注し、認可整備計画区間L=413.6mの事業完了した。		
課題・問題点等(C)	現整備計画区間完了のためなし。		
今後の方向性(A)	(都)平川公園通り線交差点から(主)掛川浜岡線までの(都)青葉通り磯田線は未整備となっていることから、事業計画を定める必要がある。		

事業名(中分類)	計画の再検証・見直し	予算事業番号 (予算事業名)	8.4.2.108067(都市計画調査事業費)
事業概要	都市計画道路の多くは、高度経済成長期の市街地拡大や自動車交通の増大を前提に計画されており、その後の社会情勢や交通需要の変化に伴い、当初予定されていた役割や必要性に変化が生じ、既成市街地における事業の困難性や財政的な制約によって、長期間にわたり未着手の路線が存在するなど、その地域の特性や実現性を確認し、未着手・未整備となっている都市計画道路についての必要性及び合理性を再検証する。		
取組内容・結果等(D)	平成29年度には、関係機関協議や住民説明等を経て、都市計画道路の13路線(19区間)の見直しを行い、存続(8路線)、変更(2路線)、廃止(3路線)の原案を確定し、検証結果を平成30年3月27日に市ホームページへ公表した。 潮海寺地区の都市計画道路(2路線)の廃止に伴い、用途地域や潮海寺地区計画の変更が必要となったため、影響が生じる潮海寺地区等の住民や関係機関と協議を進め、都市計画決定の素案を作成した。 西方高橋線のルート変更に伴い、菊川運動公園の区域変更が必要となったため、課題を整理し都市計画決定の素案を作成した。		
課題・問題点等(C)	都市計画決定に向け、都市計画法に則した公聴会や泉都市計画課との事前協議が必要である。		
今後の方向性(A)	都市計画法に則った手続きを進めていく。		

事業管理シート(施策)

基本目標	4	快適な環境で安心して暮らせるまち【防災・環境・社会資本整備】
政策名	5	良好な住環境や道路・公園を次世代に引き継ぐまちづくり
施策名	2	幹線道路や生活道路を整備します

事業名(中分類)	立地適正化計画策定事業	予算事業番号 (予算事業名)	8.4.2.108067(都市計画調査事業費)
事業概要	人口減少と少子高齢化を背景に、本市においても今後の人口減少が見込まれているため「選ばれるまち」としての良好な住環境を整備していくことが求められ、財政面、経済面においても安定した持続可能な都市経営を構築していかななくてはならない。 そのためには、駅などを中心とした拠点に、医療・福祉、子育て・教育、商業など生活に必要な機能を集約し公共交通で結ぶ、多極ネットワーク型のコンパクト化を目指した立地適正化計画を策定する。		
取組内容・結果等(D)	平成29年度には、立地適正化計画の策定に向け、福祉や教育、防災など幅広い分野に渡り全庁的に検討が必要であり、本計画の概要や意義について理解いただくため、庁内勉強会を開催し立地適正化計画に係る理解を深めてもらった。 平成30年度には、菊川市らしい立地適正化計画を策定するために、基礎調査を実施し、各計画・施策の整理、課題の分析・抽出、まちづくりの方針(ターゲット検討)、目指すべき都市の骨格構造の検討、課題解決のために必要な施策・誘導方針の検討などをおこなった。 平成31年度には、基礎調査結果を基に、都市機能誘導区域・居住誘導区域、誘導施策、目標値など設定し、素案を完成させた。		
課題・問題点等(C)	計画に市民の意見を反映させる必要があり、施行前には関係団体や住民説明が必要である。		
今後の方向性(A)	立地適正化計画(計画書)の作成、立地適正化計画(概要版)の作成、住民説明、パブリックコメント、議会説明などを実施する。		

事業名(中分類)	計画道の整備事業	予算事業番号 (予算事業名)	8.4.2.108070 (県費補助青葉通り嶺田線)
事業概要	本路線は、牛瀬川により分断されている東西市街地を結ぶ重要路線の一つであり、健全な市街地の発展のためには本路線の整備が欠かせないものである。現在牛瀬川に掛かっている小松洗橋は幅員がW=3.5mと狭く交通の難所となっている。また、本路線は牛瀬川西側の嶺田地区から牛瀬川東側にある岳洋中学校への通学路になっていることから、朝の通勤・通学が重なる時間帯は危険であり、橋梁の改修及び歩道の設置が急務となっている。よって(都)青葉通り嶺田線の整備を進める。		
取組内容・結果等(D)	国土交通省・静岡県協議を行い小松洗橋橋梁上部工の機種決定と県道交差点協議を行った。 令和2年度に行う、橋梁設計をL=45m行うための、県費補助金申請を行った。		
課題・問題点等(C)	静岡県と(主)掛川浜岡線バイパス交差点協議及び国土交通省との河川協議を行う必要がある。		
今後の方向性(A)	国土交通省・静岡県協議を行い、小松洗橋橋梁下部工設計を進める。		

施策を構成する事業評価

No.	42	担当課	都市計画課
-----	----	-----	-------

1. 施策名

基本目標	4	快適な環境で安心して暮らせるまち【防災・環境・社会資本整備】
政策名	5	良好な住環境や道路・公園を次世代に引き継ぐまちづくり
施策名	3	公園などの整備を進めます

2. 重点事業

事業名(中分類)	なし						予算事業番号 (予算事業名)						
事業指標	現状値 H27	実績値										目標値 R7	達成 状況(%)
		H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
事業概要													
取組内容・結果等(D)													
課題・問題点等(C)													
今後の方向性(A)													

3. 基本事業

事業名(中分類)	公園整備事業	予算事業番号 (予算事業名)	8.4.7.108068(都市公園整備事業費)
事業概要	周辺住民の安らぎや憩い、活動の場となる公園の整備を推進する。		
取組内容・結果等(D)	都市公園5公園5基の照明灯についてLED交換工事を完了した。 菊川運動公園の健康遊具(腹筋台)について更新工事を完了した。 青葉台1号公園のトイレについて多目的トイレへの改修工事を完了した。 柳1号公園・柳3号公園・菊川中央公園の照明灯3基について塗装修繕工事を完了した。		
課題・問題点等(C)	経年劣化により通常の修繕では対応できないものが増えてきている。そのため計画的な施設の更新・再整備が必要である。		
今後の方向性(A)	保守点検結果や使用頻度等から優先度を決め、計画的に整備を進めていく。		

事業名(中分類)	公園の維持管理事業	予算事業番号 (予算事業名)	8.4.7.108045(都市公園管理費) 8.4.7.108046(その他公園管理費) 8.4.7.108801(公用車管理費(都市計画課)) 8.4.7.108858(公園管理総務費)
事業概要	市民が安全で利用しやすい環境を維持するため、自治会や任意団体と協働で公園の管理を進める。		
取組内容・結果等(D)	指定管理者との報告会を年17回行い、適正な公園の維持管理を行った。 自治会も含め17団体と公園管理に関する委託契約を締結し、適正な公園の維持管理を行った。 嘱託職員との連携を密にし、適正な公園の維持管理を行った。 造園業者及びシルバーに公園管理業務委託を発注し、適正な公園の維持管理を行った。		
課題・問題点等(C)	指定管理者と施設修繕について、管理協定の締結を行ったが、契約締結に基づき費用面も含めて管理する必要がある。 市民の公園の維持管理に対する理解が深まり、17団体と委託契約を締結することができたが、地元に着している規模の小さい街区公園は、そのすべてを地元と協働による維持管理としていく必要がある。		
今後の方向性(A)	引き続き指定管理者と適正な公園管理を行っていく。 一つでも多くの公園で地元住民と協働による公園の維持管理ができるよう地元自治会等と協議を重ねていく。		

施策を構成する事業評価

No.	44	担当課	農林課
-----	----	-----	-----

1. 施策名

基本目標	4	快適な環境で安心して暮らせるまち【防災・環境・社会資本整備】
政策名	5	良好な住環境や道路・公園を次世代に引き継ぐまちづくり
施策名	3	公園などの整備を進めます

2. 重点事業

事業名(中分類)	なし						予算事業番号 (予算事業名)						
事業指標	現状値 H27	実績値										目標値 R7	達成 状況(%)
		H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
事業概要													
取組内容・結果等(D)													
課題・問題点等(C)													
今後の方向性(A)													

3. 基本事業

事業名(中分類)	農村公園の維持管理事業	予算事業番号 (予算事業名)	6.2.3.106031(農村公園管理費)
事業概要	・農村公園を快適に、安全に使用していただくため、美化に努め、事故防止を図る。		
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレ清掃、除草、樹木剪定を自治会やシルバー人材センターに委託し、公園の美化を図った。</li> <li>・公園内にある遊具の保守点検及び砂場の大腸菌検査を実施した。</li> <li>・保守点検により、修繕の必要があるものについて修繕工事を実施した。</li> </ul>		
課題・問題点等(C)	・公園内遊具は老朽化が進み、修繕箇所が増えてきている。今後は修繕が効かなくなることも考えられる。		
今後の方向性(A)	・今後も継続し、公園の美化及び事故防止に努める。		

施策を構成する事業評価

No.	45	担当課	地域支援課
-----	----	-----	-------

1. 施策名

基本目標	4	快適な環境で安心して暮らせるまち【防災・環境・社会資本整備】
政策名	5	良好な住環境や道路・公園を次世代に引き継ぐまちづくり
施策名	4	交通事業者と連携して交通手段の確保に努めます

2. 重点事業

事業名(中分類)	コミュニティバス等利用促進事業						予算事業番号 (予算事業名)	2.1.9.102055(コミュニティバス推進費)					
事業指標	利用者数	現状値 H27	実績値								目標値 R7	達成 状況(%)	
		H26実績 1日平均 乗車数 135.11人	H29実績 1日平均 乗車数 126.90人	H30実績 1日平均 乗車数 130.36人	R元実績 1日平均 乗車数 133.22人	R2	R3	R4	R5	R6	R7	現状維持	
事業概要	コミュニティバスを運行するとともに、これに伴う管理運営、利用者拡大、運行見直しを実施する												
取組内容・結果等(D)	令和2年度からのコミュニティバスの運行方法について、事業者から意見をいただき、公共交通会議において検討を進め、一部の路線において運行コースを見直し、デマンド運行を導入した。 令和元年8月に菊川市地域公共交通網形成計画を策定した。												
課題・問題点等(C)	令和2年4月1日の運行改訂について、コース図・時刻表の配布等を行っているが、引き続き周知が必要である。特にデマンド運行については、ホームページやチラシ等によりさらに周知していく必要がある。												
今後の方向性(A)	地域公共交通網形成計画に基づき、施策を展開するとともに、毎年の事業評価を行っていく。												

3. 基本事業

事業名(中分類)	民間路線バス等の維持						予算事業番号 (予算事業名)	2.1.9.102058(バス路線維持対策費)					
事業概要	バス事業者が撤退した萩間線を、生活交通を確保するために牧之原市・島田市・菊川市の3市共同で運行し、しずてつジャストライン株式会社に運行を委託している。運行経費は、市内走行距離に応じて、3市で負担している。 菊川浜岡線は、菊川駅から浜岡営業所を結ぶ路線をしずてつジャストライン株式会社が運行している。静岡県生活交通確保対策協議会や生産性向上の取組を検討するワーキンググループで利用者確保への取り組みを検討し、市作成のコミュニティバス時刻表にしずてつジャストラインの運行路線を記載するなど協力して利用者拡大につとめた。												
取組内容・結果等(D)	静岡県生活交通確保対策協議会の生産性向上の取組を検討するワーキンググループへ出席し、運行事業者や各市町の担当者と意見交換を行った。 令和2年度のコミュニティバスコース図・時刻表に菊川浜岡線や萩間線の時刻表のQRコードを掲載し、また、コミュニティバスの主要停留所からの乗り継ぎ情報も掲載した。												
課題・問題点等(C)	菊川浜岡線、萩間線ともに収支率が悪化し、運行経費が増額してきているが、市民の通勤・通学・通院等の重要な役割を担っているため、維持していく必要がある。												
今後の方向性(A)	関係事業者や市町とともに収支率の改善について検討していく。 菊川浜岡線については、事業者への補助について見直しをしていく。												

## 施策を構成する事業評価

No.	43	担当課	建設課
-----	----	-----	-----

## 1. 施策名

基本目標	4	快適な環境で安心して暮らせるまち【防災・環境・社会資本整備】
政策名	5	良好な住環境や道路・公園を次世代に引き継ぐまちづくり
施策名	5	橋梁や道路施設を適切に維持管理し、長寿命化を図ります

## 2. 重点事業

事業名(中分類)	橋梁や道路施設の長寿命化事業		予算事業番号 (予算事業名)	8.2.2.108054 (社会資本整備総合交付金事業道路橋梁長寿命化)								
事業指標	橋梁定期点検の実施率	現状値 H27	実績値								目標値 R7	達成 状況(%)
		H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	100%	
事業概要	<p>・平成26年度から5年に1回の近接目視による点検が義務化され、菊川市管理の橋梁615橋について、近接目視による点検1巡目を平成30年度に完了した。引き続き2巡目以降の点検を行うとともに、点検結果や橋梁個別施設計画等に基づいて修繕を実施する。</p>											
取組内容・結果等(D)	<p>・令和元年度は76橋(職員点検を含む)の定期点検を実施し健全度の評価を実施した。          ・補修については観音橋のほか6橋(繰越工事を含む)の補修を実施し長寿命化を図った。          ・橋梁長寿命化事業に係る個別施設計画を策定し、併せて事業の平準化に取り組んだ。</p>											
課題・問題点等(C)	<p>・職員点検の対象となる125橋の小規模橋梁について、年間25橋を定期点検により実施していくが、劣化の原因が様々であるため職員の経験を積んでいく必要がある。          ・国土強靱化事業に位置付けられている三沢橋について、令和2年度末までに事業完了し効果を発現させるよう事業を進めていく必要がある。</p>											
今後の方向性(A)	<p>・引き続き健全な道路環境を維持するため、定期点検を適切に実施し予防保全に努めていく。</p>											

## 3. 基本事業

事業名(中分類)	なし	予算事業番号 (予算事業名)	
事業概要			
取組内容・結果等(D)			
課題・問題点等(C)			
今後の方向性(A)			

## 施策を構成する事業評価

No.	42	担当課	都市計画課
-----	----	-----	-------

## 1. 施策名

基本目標	4	快適な環境で安心して暮らせるまち【防災・環境・社会資本整備】
政策名	5	良好な住環境や道路・公園を次世代に引き継ぐまちづくり
施策名	6	市営住宅を適切に維持管理し、長寿命化を図ります

## 2. 重点事業

事業名(中分類)	なし						予算事業番号 (予算事業名)						
事業指標	現状値 H27	実績値									目標値 R7	達成 状況(%)	
		H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
事業概要													
取組内容・結果等(D)													
課題・問題点等(C)													
今後の方向性(A)													

## 3. 基本事業

事業名(中分類)	市営住宅の長寿命化事業	予算事業番号 (予算事業名)	8.5.1.108053 (社会資本整備総合交付金事業市営住宅長寿命化)
事業概要	菊川市営住宅長寿命化計画の市営住宅の老朽状況を踏まえ、住棟ごとに改善、修繕等の活用手法を定め、効率的に実施することにより、良質なストックを効果的に長期活用するための方針、予防保全的な観点から修繕や改修の計画を定め、長寿命化によるライフサイクルコストの削減と、事業費の平準化等を図るため、上本所団地D棟改修設計及び同団地B棟改修工事を行い長寿命化を図る。		
取組内容・結果等(D)	菊川市営住宅等長寿命化計画に基づき、上本所団地A棟の改修設計及び同団地D棟の改修工事を実施した。		
課題・問題点等(C)	国の交付金の内示率が下がること、長寿命化工事の進捗に遅れが生じる可能性がある。		
今後の方向性(A)	菊川市営住宅等長寿命化計画に基づき、引き続き市営住宅の長寿命化を推進する。		

事業名(中分類)	市営住宅の維持管理事業	予算事業番号 (予算事業名)	8.5.1.108049(市営住宅管理費)
事業概要	設備等修繕(電気設備、給水設備、消防設備、入居前の居室修繕など)を実施し、市営住宅を適切に維持管理する。		
取組内容・結果等(D)	令和元年度の市営住宅の修繕については、電波障害用共同アンテナブースターの交換や給排水管の修繕、台風19号被害による屋根等の補修、退去時の居室修繕など77箇所の修繕を実施した。また、給水設備、消防設備、エレベーター等の設備については、保守点検業務委託により適正に管理した。		
課題・問題点等(C)	市営住宅は、昭和63年から平成15年にかけて建築された住宅であり、老朽化が進行することで、さらに修繕箇所の増加や設備等の更新が必要になることが想定される。特に、近年では給排水管の老朽化による詰まりや破損、換気扇及び電気温水器の故障などが増加している。		
今後の方向性(A)	老朽化した設備等の適切な管理、修繕及び更新を進めるため、新たな財源の研究や効率的な設備の更新計画等について検討する。		